

少年の日の思い出

一年 組 番 氏名

場面一

客が思い出を語り始めるまでを読みとろう。

①

「わたしのチョウチョ」とありますが、「わたし」がチョウチョの収集を再開するようになったのはなぜですか。

・

--	--

ができてから、自分の

--	--	--	--

のいろいろの

習慣や

--	--	--	--	--

がよみがえってきたから。

②

「客」は、「ぼくは小さい少年のころ熱情的な収集家だったものだ」と言っていますが、チョウチョのあつかいに慣れていることがよくわかる動作を、文中から一文で抜き出し、初めの五字を書きましよう。

・

--	--	--	--	--

③

「客」が、「もう、けっこう」と言った理由がわかる部分を「客」の言葉の中から二十字以内で書き抜きましよう。

・

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

④

「彼の姿は、外の闇からほとんど見分けがつかなかった」とありますが、なぜそんな闇の中で彼は話し始めたのですか。

・

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

場面二

「ぼく」の熱情を読みとろう。

① 「ぼく」とありますが、これは現在の部分のどの人物と同じ人物ですか。

② 「ぼく」がチヨウチヨ集めに心を打ちこんでいる様子が具体的に書かれている部分を文中から二文で抜きだし、初めと終わりの五字を書きましょう。

§

③ 「今でも美しいチョウチョを見ると、おりおりあの熱情が身にしみて感じられる」とありますが、「ぼく」は、その熱情をさまざまに言い換えて説明しています。まとめてみましょう。

[illegible]

と

と

との入り交じった気持ち。

④ 「幼い日の無数の瞬間」とありますが、これはどのような場所で、どのようなときに味わった瞬間なのか。

12

ω

⑤ 「重大で、評判になるような発見物や獲物があつても、ないしよにし、自分の妹たちだけに見せる習慣になつた」とありますが、これはなぜでしょう。
